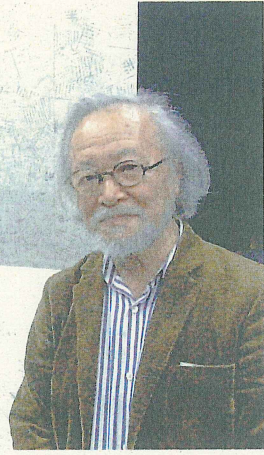


# 言論弾圧「横浜事件」

やさん(左)は、同事件で逮捕された中央論社(当時)の編集者、故藤田親昌さんの長男。「共謀罪」法が成立した今こそ、当時の状況を振り返って考えてほしい」と話している。

タイトルは「『事件』という名の事件」。ふじたさんが関係者に取材した内容や残された資料を基に、編集者が受けた拷問や逮捕あげの自白の強要など逮捕された人らの実名そのままに事件の再現を試みている。

横浜事件  
1942年に雑誌に掲載された論文が共産主義の宣伝として、神奈川県警特高課などが治安維持法違反容疑で出版社社員ら60人以上を逮捕。拷問で4人が獄死した。終戦直後の45年8〜9月、横浜地裁は形だけの裁判で約30人に有罪判決を出した。遺族が刑事補償を求めた裁判で同地裁は2010年「警察や検察、裁判の各機関の故意・過失は重大」と指摘、事実上の無罪判決となる決定を出した。



捜査資料などのコピーが貼られた舞台上で語るふじたあやさん(東京新宿区)

# ロヒンギヤの子助けて

ミャンマーの少数民族イスラム教徒「ロヒンギャ」が大量に国外へ逃れている問題で、自らも27年前に国外に脱出し難民になった「在日ビルマロヒンギャ協会」難民問題担当代表のアウンティンさん(49)＝群馬県館林市＝が、バングラデシュの難民キャンプを10月に視察。現地の悲惨な状況を語った。日本の皆さんにもサポートをお願いしたい」と呼びかけている。【杉直樹】



アウンティンさん

2人で10月6〜11日、バングラデシュ南東部・コックスパザール郊外の海岸沿いの難民キャンプを訪れた。薄いビニール一枚の

# キャンプ視察



バングラデシュ南東部コックスパザール郊外アウンティンさん提供

身寄りのない子どももの姿も目立ち、人身売買やテロ組織からの勧誘の危機にさらされている。アウンティンさんも、白昼に11歳の男児が複数の男らに拉致された。この時は男児の悲鳴を聞きつけたバングラデシュ軍によって救出されたが、「同じことはあちこちで起きている」と表情を曇らせる。

アウンティンさんは1988年、ミャンマーで民主化運動に身を投じたが、軍事政権の弾圧が強まり身の危険を感じ、90年7月に国外に脱出。タイなど複数の国を経て、92年に日本にたどり着いた。

悪を極めていた。テントすらなく雨風にさらされ、体調を崩している人も少なくないという。

ロヒンギャ  
ミャンマー西部ラカイン州に住む少数民族イスラム教徒と仏教徒は共存していたが、英国の植民地支配を経てミャンマーに軍事政権が誕生すると、政府との対立が激化。1982年に「不法移民」として国籍が剥奪された。今年8月にロヒンギャの武装組織とミャンマーの治安部隊との戦いが始まり、約60万人が隣国のバングラデシュに逃れたとされる。

日本に230人  
館林に9割

アウンティンさんは1988年、ミャンマーで民主化運動に身を投じたが、軍事政権の弾圧が強まり身の危険を感じ、90年7月に国外に脱出。タイなど複数の国を経て、92年に日本にたどり着いた。

# カブトムシの角どう生える？



# しぼんだ袋が膨らんで

カブトムシの角は幼虫にありしぼんだ袋のような組織が、さなぎになる時に膨らんでできることが分かったと名古屋大などの研究グループが「基」(縦横、厚さ各約1センチ)幼虫

英科学誌に発表した。クワガタムシやセミなど多くの昆虫の外骨格も同じパターンで作られる可能性があるという。カブトムシの幼虫の頭には、角に成長する前の「角原」は、角に成長する前の「角原」(縦横、厚さ各約1センチ)幼虫

という、袋状のしわの多い組織が畳まれていることが分かってきた。だが、それがどのように角の形に伸びるかは謎だった。

後藤寛貴・名古屋大特任助教(進化発生学)らは、幼虫の体液を角原基に注入してみると、簡単に角の形に膨らんだ。実際の変態でも、同様の現象が起こっているとみられる。角の形成は細胞の増殖によるものではないことが分かった。さらに、角原基をコンピュータグラフィックスで再現。しわを広げたところ、角の形に展開したという。

後藤さんは「単純な物理的プロセスで角ができていて、硬い外骨格を持つ生物で一般的な現象かもしれない」と話している。【阿部周一】

書予防につながる」と話し、建設などのための寄付を呼びかけている。問い合わせはアウンティンさん(080-3463-6187)または同協会(0276-55-4922)。

デジタルプラス  
写真特集

厚労省 過剰サービス抑制狙い  
サービス付き高齢者 介護で、厚生労働省 過剰サービス抑制狙い  
向け住宅(サ高住)などは事業所に支払う報酬の引き下げ幅を現在の1割程度に引き下げ、一部の事業者が利益を減らす方針を決めた。

「日経」社で働いていて、妻もいた社会保険審議会 側には少ない移動コストで一度に多くの利用者宅を訪問できるメリットがある。

日々書  
あなたの心を伝える、あなただけの筆文字を書きましょう。お名前のご指導もいたします。お気軽にご参加ください。  
★11月17日(金)18時半〜20時半  
★11月18日(土)16時半〜18時半  
★各2,700円(送料・練習紙・保存版) 成例例) 藤野北辰

江戸城を歩く  
紅葉が最盛期の頃、江戸城を歩く  
スタートは桜田門外の変として知られる。幕末に大老の井伊直弼が暗殺された桜田門。江戸城のさまざまなドラマを聞きながら、ゴールは北詰橋門で、3.3kmを歩きます。晩秋の紅葉が最盛期の頃の実施となります。  
★12/2(土) 10時〜12時半  
★3,365円 清水 克悦 ※現地集合、解散、交通費各自

誰にでも書けるエッセイ  
ふと気になったこと、忘れられない思い出など、誰もが心にどどめておきたい人生のひとこまを文章に綴ってみませんか。文章の書き方の基本を初心者でも自然に身につけられる方法を指導します。  
★第4水曜 15時〜16時半  
★11/22〜6回 15,000円  
★木村玉絵

わかればもっと楽しい 美術の世界  
入門的解説からはじめて、名画の数々を心ゆくまで鑑賞する講座です。歴史、時代背景、文学、映画、モード、料理等々、さまざまな話題にふれながら、名画を総合的に味わいます。  
★第1火曜 10時半〜12時半  
★12/5〜6回 15,000円(資料代別) 長谷 俊雄

古文書入門  
江戸の文字もじ講座  
まったくはじめての方を対象とし、江戸時代のくずし字を「読み書き」した「てらこや」のテキストから始めて、まず「かな」(江戸の仮名)と字母の「漢字」に慣れることを目標とします。  
★第1水曜 10時半〜12時半  
★12/6〜6回 15,000円  
★菅野 俊輔

近代の遺産・名  
明治・大正・昭和 渡る名建築・近代遺産を訪ね、残された様々な歴史の痕跡から新たな街の魅力、再発見していきましょ。新宿御苑の遺産を★第2水曜 10時半〜12時半  
★12/13〜6回 (資料代・保険料別) ※現地集合、解散、交通